

第4回  
学識経験者等の意見を聴く場  
説明資料

今後の予定について

令和5年3月3日

国土交通省 九州地方整備局  
熊本県

# 流域対策メニューの進め方について

---

- 集水域、氾濫域といった流域での対策メニューの実施にあたっては、関係機関が連携した推進体制の構築を図るとともに、各体制で取り組みを継続
- また、流域治水協議会を活用したフォローアップやメニューの進捗管理も実施し、実効性を高めていく

### 〔対応方針〕

#### ■集水域、氾濫域の対策毎の推進体制の構築、取り組みの継続

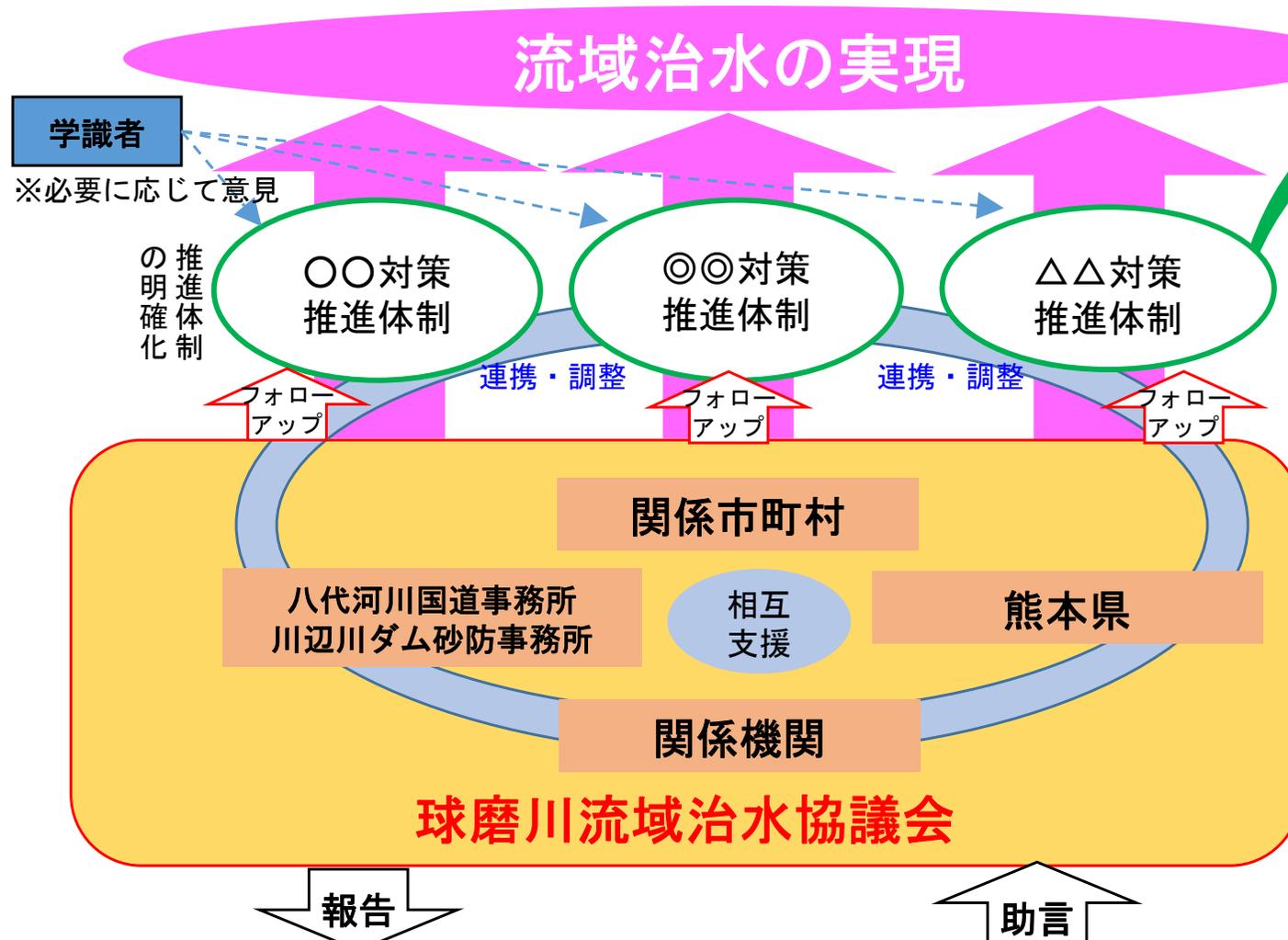
- ・対策毎に推進体制を構築（対策の内容に応じて必要な場合は、地域単位で体制を構築）
- ・各推進体制で必要に応じて学識者から意見を聴取
- ・国及び熊本県による各対策メニューの進捗管理
- ・流域治水協議会によるフォローアップ

#### ■地域の復旧・復興との連携

- ・流域対策メニューの実施にあたっては、復興まちづくりやインフラの復旧と連携を図るため、関係者間の情報共有、調整等を実施

## 対策毎に推進体制を構築し、各体制で取り組みを継続

- 流域対策を着実に進めるため、対策毎に推進体制を構築し、関係者間で連携して取り組むとともに、必要に応じて学識者の意見を聴取し、対策の見直し等を実施
- 流域治水協議会を継続し、実施状況等についてフォローアップを行い、内容の見直しを実施



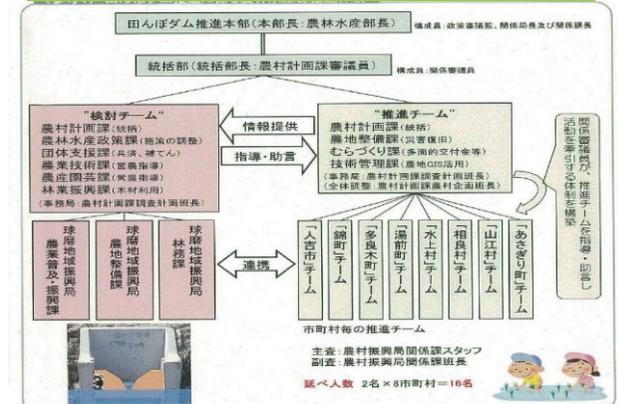
### 個別の対策の推進事例【田んぼダム推進体制】

#### 推進体制を構築し、取り組みを開始

有識者（京都大学等の研究機関）による効果検証委員会

取組の推進  
効果検証 啓発活動  
環境学習等への活用 等

#### 熊本県田んぼダム推進本部



学識経験者等の意見を聴く場

## 地域の復旧・復興との連携について

○流域対策の実施にあたっては、復興まちづくりや道路、鉄道等のインフラの復旧と連携して取り組むことにより、地域の復旧・復興を推進する。このため、球磨川流域治水協議会や流域対策の関係者と復興まちづくり、インフラ復旧の関係者間での情報共有や調整等を図る

